



大倉公園 (大府市)

毎年4月末～5月 園内一杯に つつじが咲き誇り「つつじまつり」が開催されます。

現在の医療システムに想うこと

特定医療法人共和国
本部長 江端 要

このたび特定医療法人共和国の法人本部長を拝命いたしました。よろしく願い申し上げます。

私はこれで3つ目の職場となります。1つ目は、外資系情報機器の会社でコンピュータの黎明期からインターネットの普及当初の時代まで約20年間仕事をしておりました。2つ目は、愛知県内の医療法人の団体である社団法人愛知県医療法人協会事務局に11年あまり勤務しました。当初は全く畑の違う業種であったため随分戸惑いましたが、医療や介護に関する情報、行政の動向、社会保険システム、多様なルールや規制、患者さんの要望・苦情など様々な情報が集まる職場であったことから、事務的に整理をしているだけでも、おのずと広く浅く医療や介護について知るところとなり今日に至っています。

さて、昨年2月に韓国はソウル市の病院を見学する機会がありました。電子カルテシステム等の普及の様子を中心に見学するため「延世大学附属セブランス病院」を訪問しました。新病院と既存病院をあわせて2300床、平均外来患者数6700人(2003資料)という巨大な病院です。ソウル市内には、このクラスの病院がここを含めて5つもあるとのことでした。

韓国は電子カルテの普及率は70%を超えるそうで、日本では資料によると2006年度で400床以上の医療機関の導入は24%、20床以上の病院の導入はわずか6.8%と、随分開きがあります。

セブランス病院は、韓国でもトップクラスの病院で、電話で受診予約して駐車場入り口で予約番号を入力するとゲートが開き、駐車場所から巨大な館内の診察ブースまで案内され、診察し薬を受け取り、精算、帰路までも案内するようシステム化されていました。受診に

係る全てがコンピュータシステム化されています。もちろん保険請求も自動化されているようで、館内どこに行っても殆ど書類がありません。日本の病院の状況と比べると驚きです。

韓国は、日本の健康保険のシステムをそっくり導入したそうですが、様々な理由で事務効率を上げて、トータルな医療コストを下げる必要性があったことから、国を挙げて一気に電子化を促進し、保険組合も1つに集約したと説明を受けました。電子化を構築するときにはインフラの整備に大きな投資が必要ですが、導入後のランニングコストは大幅に削減が見込め、さらに大量の情報処理を短時間で行うことができます。ただし、このときに例外を認めると逆にコストアップの要因となりますので、韓国のとった手法は正解だと思います。元その業界にいたものとしての感想は、技術的には日本でできないことは1つも無く、むしろもっと精度が高く良いものができると思いました。しかし、国内で実現するには、数多くのハードル(紙面の都合で具体的には書けませんが…)を乗り越えなければならない状況があります。一説によると紙による診療報酬請求事務に係るコストは全体で数千億円もかかっているとの事です。同じ事をするときにコストは少なければ少ないほうが良いわけですから、ここは関係各位の知恵を集めコスト削減のために合意をして、機械に任せられることは任せて、浮いたコストを患者さんや医療者そして地域に還元できればいいなあと感じるものです。

共和国の提供する医療サービスが、地域の皆様にとって これまで以上に有意義なものになるよう、共和国職員の一員として微力ではありますが、実現に向けて精進、努力してまいります。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT



第1回 共和病院 研究発表会

平成22年3月6日(土)当院 多目的ホールにおいて、第1回 共和病院研究発表会を開催しました。

これまで2年ごとに看護部研究発表会を開催してきましたが、他職種からも参加希望が多く、今回より共和病院全体の取り組みとして名称変更しました。外部からも含め150名の参加があり、多職種と連携して開催できた嬉しい1日でした。

私は、医療従事者は実践の中で研究論文は書き続けるべきだと考えております。もしも、研究をしなければ、医療実践を振り返る事をしないことで経験が形骸化し、個人の主観だけが頼りになる医療に傾きがちになります。そういう意味でも、今回勤務の合間をぬって、論文を作成し、発表までに至った発表者や共同研究者に心から拍手を送りたいと思っております。今回の発表内容は、日頃の実践の中から

疑問に思ったことや考えを中心にまとめたものばかりでした。論文として完成したものを読むと、現場のスタッフがいかに連携しながら患者様を援助してきたかが客観的に理解でき、院内の他部署理解も深まったと感じました。また、それぞれの発表後に、10分間の質疑応答時間を設けました。会場からは多くの率直な質問があり、外部の方からは、暖かい言葉が目立ちました。この質問により、発表者が再度論文構成を見直し、今後学会発表に向けてさらに推敲が深まると感じました。

アンケートより外部の方からの感想をご紹介します。「レベルの高い研究が揃っていた。(中略)現場の声を大切に引き出していることが素晴らしいと感じた」「最前線の若手職員と、上層部との温度差を感じさせない病院のカラーを感じた」「医療関係者の公開研究会として素晴らしい企画」など、どれも身に余る嬉しい内容が並びました。

今後も共和病院研究発表会を継続し、実践を客観的に発表し評価しあいながら、院内多職種の連携はもちろん、院外の方達とも連携を深めさせていただきたいと思えます。

(看護部 松下 直美)

研究発表プログラム



幻聴に苦しむ
長期保護室患者様の看護
「出たい!」の訴えを受け止めて
加藤 順子(看護部)



長期入院患者様が退院して
社会生活できている要因
10人の統合失調症患者様への
インタビューからの考察
阪上 昌子(看護部)



精神科患者様の禁煙について、
医療スタッフはどう感じているのか
〜全館禁煙を振り返って〜
丹羽 俊樹(看護部)



多職種間連携により
患者様のADLの改善がみられた
1例
森川 裕子(薬剤師)



精神科病棟におけるNST活動
〜被害妄想のある患者様への対応〜
伊藤 真理子(管理栄養士)



デイケアにおける生活習慣改善
プログラムの取り組み
〜プログラム効果検証の試みとして〜
小島 誠生(精神保健福祉士)

総務課



こんにちは、総務課です。A館1階受付の後ろに事務所を構え、3人体制で書類に埋もれながら日々奮闘しております。皆さんは総務課って毎日何をやっているのだろう～?と不思議に思った事は無いですか? 総務の仕事は、共和会の職員全員が働きやすい環境を作ることですが、それが書類上の事だったり、病院の運営上必要な行事だったり幅広いのが特徴です。例えば、職員の入退職に伴う健康保険、厚生年金や雇用保険などの手続き、また福利厚生として慶弔関係の手続き、そして病院運営に直接関わる県庁、法務局、保健所などへの届出など、様々な業務を日々、書類とパソコン、そして電話と戦っている毎日です。仕事の中には、月末になると統計資料の作成など定期的なものから、入院患者様の選挙に関わる期日前投票の手続き対応のように不定期に行うものまで、突然予定外の仕事が入ってきたりします。その為、依頼された書類などが遅くなってしまうこともあり、大変ご迷惑をお掛けしたこともあるかと思えます。それでも職員の優しさと理解に支えられながら、日々応えられるように努力しております。

毎年夏には事務所を飛び出し、次年度の新卒者受入れの為、大府市や東海市・東浦町などの学校を訪問し、働きながら看護師の資格を取りたい学生さんのサポートが出来る病院としてアピールさせていただいています。

何でも屋さんの総務課、職員をはじめ地域の皆さん個々の生活に関わりのあるあらゆることのお手伝いも大切な仕事です。健康診断や特定健診、予防接種の予約などの受付も行なっていますので、何かご不明な点や不安な事がありましたら、まずはお電話1本、何なりとご相談ください。まだまだやれる総務課!を目指しております。



総務課は、朝一番乗りでフットワークも軽く、職員から信頼の厚い? 部長をはじめ、仕事だけでなくあらゆる分野の知識人の男性職員と、家庭と子育ての両立を実践し、夜の晩酌と東京ディズニーリゾートに行く事を唯一の楽しみにしている女性職員の3人が、職員や患者様、また地域住民の皆さんの縁の下の力となって日々仕事に取り組んでおります。

総務課 樋高 里津子

編集後記



娘が通う保育園の池の土手につくしを見つけました。春の訪れですね。

広報誌は年4回発行していますが、ちょうど一年前もこの時期を担当させていただきました。あの時は、新年度の始まりとして息子と早朝マラソンをする目標を書かせていただき、その後の続きで恐縮ですが、結局一緒に走る事ができず一年が過ぎてしまいました(恥)ただ、息子は去年の5月からスポーツ少年野球に入団しました。そのかいあってか、今年の2月に行われたマラソン大会は11位を

子育てサポート 優良事業者として 表彰されました!

当法人は、子育てをしながら働く職員を支援する一環として、平成4年に共和病院 院内保育所を開設し、平成20年には建て替えを完了、毎日10～15名ほどのお子さん(6ヶ月～3歳)をお預かりしています。病院の敷地内にあり、いつでもお子さんの様子を見られる環境が整っているため、産休を終えた職員は必ず復帰しています。出産前や産休復帰後は職員やご家族の負担が少しでも軽くなるよう配慮し、勤務形態についても柔軟な姿勢で対応しています。

このような取り組みが大府市に認められ、「おおぶ子育てサポート優良事業者」として表彰をうけることとなりました。この表彰事業は平成19年度より実施されており、仕事と子育ての両立支援を推進している事業者への表彰は、大府市では当法人が2番目となります。

法人理念である「優しい医療・楽しい職場」のなかに、「職員の満足が患者様へ反映される職場」の想いがあります。充実した職場環境の中で、生き生きと働けるような職場づくりを目指します。その取り組みこそが、患者様への安心と満足を提供するサービスへと繋がっていると自負しています。



大府市 久野市長から表彰をうける加藤理事長(写真左)



栄誉!

当院は、さまざまな看護学校より実習を受け入れるとともに、当院で勤務しながら看護学校に通学する職員の支援を行なっています。

さる平成22年3月5日、名古屋市医師会看護専門学校卒業式において、在校生の代表として、当院の職員 西垣ちはるさんが送辞を読み上げました。卒業生300名への送る言葉には、将来看護師として活躍を期待させる想いが込められていました。

記録しました。心配していた喘息の発作もせず、見事ゴールまで走りきることができました。こうして息子のリベンジは野球のおかげで元気な体になり見事勝利を収めることができました。

そして懲りずにまた、目標立てを。今年は主人が息子とマラソンをすると張り切っています。夫はダイエット目的ですが、そのダイエットを影ながらカロリーOFF愛妻弁当でバックアップするのが私の今年の目標です。皆さんはもう目標を立てましたか? 今年一年さまざまな目標に向かってがんばりましょう!! (M.A)

ハイテクの世界に生きる 原始人

10年前を思い出してください。携帯電話を持っていましたか？

パソコンは？ カーナビは？ デジタルカメラは？

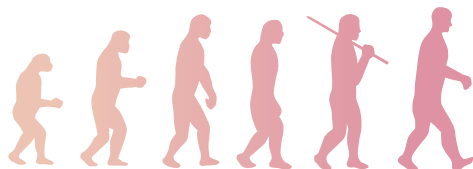
この10年間で私たちの生活環境はめざましい、いえ、目まぐるしい進歩を呈してきました。何処にいても、誰とでも簡単に連絡が取れ、道を知らなくてもナビゲーションが案内してくれます。一昔前まで、カーナビやGPSなんてものは、映画に登場するスーパーヒーローか、特殊任務のスパイの車にしか付いていませんでした。

『ちょっと時代に付いて行けないなあ』と感じている人もいますのでは？

頭が進歩に付いて行けない、しかしそれ以上に、私たちの身体は時代の変化に付いて行けていないのです。

*

人間の元祖、原始人のことを考えてみてください。



同じ人間です。同じDNAを持っています。生活習慣は異なっても、私たちは脈々と同じ原始人のDNAを受け継いで今日まで生きてきたのです。

海から陸に上がった生物、そして海から遠く離れた場所、さらに水辺からも遠く離れた場所でさえもヒトは生きてゆけるようになりました。少ない塩分や水分を無駄に

しないように二重の装置で身体を守ってきました。乏しい食料を得るために野山を

駆け回り、飢餓と戦ってきました。食べられる時に食べ、食料がない時には空腹に耐えるしかありませんでした。そんな食料事情は、皮下脂肪の蓄積という形で人類に生き延びる手段を提供したのです。怪我から身を守るためにすぐれた止血機能を、感染症から身を守るためにすぐれた免疫機能をヒトは獲得しました。こうした合目的な機能があったからこそ人類は脈々と生き続け、繁栄することができたのです。そして、こんな遺伝子の記憶は、私たちの身体の奥底に今でもしっかりとキザミ込まれているのです。

*

私たち現代人は、原始人の身体を持ち、ハイテクに囲まれ、飽食の時代に生きています。野山を駆け回らなくても簡単に食料が手に入り、摂ったカロリーは皮下脂肪として貯えられます。過剰な塩分は血圧を上げ、優れた止血機能は血栓を助長し、免疫機能はアレルギー反応を助長するようになりました。原始人として合目的であったこれらの記憶が、現代人にとって肥満、高血圧、糖尿病、脳梗塞、心筋梗塞、アレルギーを招く原因となっているのです。

『運動しない、お腹一杯食べる、お酒大好き』

そんな生き方は、私たちの身体に非合目的に働きますよ！

現代人のみなさん、注意しないと健康は少しずつ逃げてゆきますよ！

診療部 保原 怜子



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは！

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは！

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

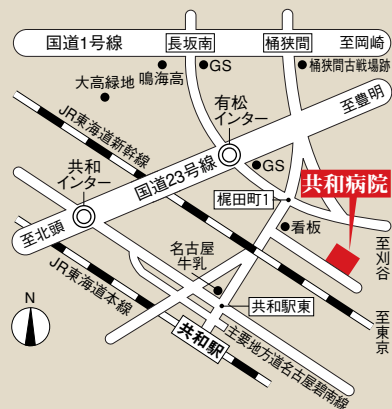
基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
- 3.あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることが出来ます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
- 4.あなたの医療上の個人情報は保護されます。
- 5.あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。

院長 安藤 勝久



お知らせ

- 6月12日(土)
第12回 共和病院 地域医療フォーラム
●場所／大府市勤労文化会館

- 7月29日(木)
盆踊り大会
●場所／当院駐車場

※詳細は、追って院内掲示等でご案内いたします。

特定医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>